

2025(令和7)年2月
習志野市男女共同参画社会づくり情報紙
第59号

きらきら Kira Kira

特集 わたしになりたい職業
～ジェンダー平等の社会づくり～



私たちのまちや暮らしを守る消防士。

消防士といえば男性をイメージする人がいるのではないのでしょうか。

今号では、消防士に憧れて夢を叶えた女性消防士取材しました。

「自分のやりたいと思ったことに一歩一歩進んでいく」

「男だから、女だから」と夢をあきらめず

性別を意識せず、誰もがなりたい職業で活躍できる社会づくりのために
視野を広げていきましょう。

※SDGs（17のゴールから構成。2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標。）

『何事にもチャレンジ』 の精神で！

●警防課 小池智尋主任に伺いました

平成 21 年 4 月採用。中央消防署へ配属。
令和 6 年 4 月から現職。

女性消防士を目指したきっかけ

中学生のときに発生した海外の大規模テロ事件で、救助活動をしている人の活躍をみて、現場の最前線で人を助ける仕事に興味を持ちました。他にも将来やりたいことはいくつかありましたが、高校 3 年生の進路選択の時に、先生の助言に後押しされ、消防士の道に進もうと決心しました。

消防士になって

入隊当初は現場配属で、ロープ渡りや梯子、ホースを伸ばしての消火訓練など、初めてのことで、現場で鍛え上げられた先輩たちに追いつくことに必死でした。

ずっと救急隊に憧れていて、資格の勉強など頑張っていましたが、なかなか配属されず歯がゆい思いをしていました。

しかし、経験を重ねるうちに、自分にできること・やりたいこと・学びたいことなど、今の場所で自分なりの目標をつくり、スキルを積み上げていくような働き方が大事だと考えるようになりました。

「上手いかわなくても、それを未来の糧にする」「やりたくないことでも、やってみたらいいことがある」と考えています。

仕事のやりがい

これまでに自分が提案して、実現した企画がいくつかあります。

一つが、高速道路関連会社との合同訓練です。

習志野市は小さなまちですが、高速道路や自動車専用道路、国道など大きな道路があり、こうした場所での訓練が大事だと思い、提案しました。

ほかには、お子さんがいる方を対象にした救命講習で、自分の子育ての経験から、「子どもがいる人は参加しづらいのでは」と感じるようになったことがきっかけで、「やってみたい」と上司に相談しました。

これまでも意見が採用されるかどうかは別として、「自分なりにこうしたい」という意見を伝えるようにしています。



育児休暇を経験して

夫は現場の消防士で 24 時間当直勤務のあと、翌日は非番といった働き方をしています。

子どもが生まれて、初めて経験することばかりの中で、夫が当直でいないときは不安で、健診ひとつとっても「どうやって行くのか」「途中で泣いたときはどうしよう」など慣れないことが多くてとても大変でした。

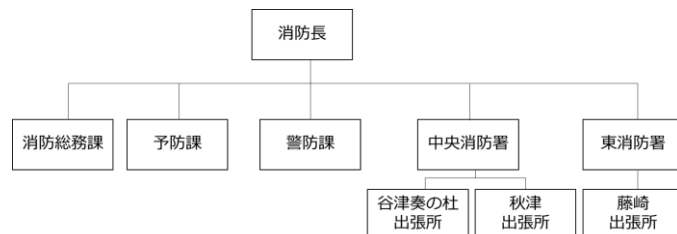
あらゆる職場で男性が休暇を取ることがもっと当たり前になってほしいですし、職場の誰が取っても「頑張ってきてね」と応援したいと思っています。

今後の抱負・メッセージ

性別に関わらず、自分がやりたいと思ったことに一步一步進んでいけば、なれないものはないと思います。失敗しても大丈夫です。「何事にもチャレンジ」の精神です！！

これからも「小池なら大丈夫」と任せてもらえるよう、頑張っていきたいと思っています。

【消防本部組織図】



市内に消防署（2 カ所）と出張所（3 カ所）があり、**警防隊**（消火活動）、**救助隊**（人命救助）、**救急隊**（けが人を搬送する）に分かれています。

そのほかに、**消防総務課**、**予防課**、**警防課**が現場の消防士を支えるとともに、火災の予防・消火・傷病者の搬送など、公共の福祉増進に努めています。



時代とともに増加・ 活躍する女性消防士

女性消防士と習志野市の現状

安永主幹 全国的に消防士全体に占める女性割合を 5%に引き上げるという目標がありますが、本市では、12 名の女性消防士（全体の 5.4%）が活躍しています。

私が入隊した当時は、女性消防士が 2 名いましたが、現場に女性を配属できるような施設もなかったのも、主に本部勤務でした。

一方、現場の消防士は出動時以外は訓練を行い、火災・救急に備えます。そして出動すれば一人の消防士として活動にあたらなければなりません。現場の消防士となれば男性も女性も、同じ訓練をこなしてもらいます。

24 時間体制の現場の中で、仕事の割り振りや救護が必要な人への対応、言葉遣いや指導の仕方など、今も考えさせられるところが多いです。

齊藤係長 現場にいた頃、女性消防士がいてくれたことで、患者さんの不安な気持ちが和らぎ、円滑なコミュニケーションを図ることができました。救護が必要な人に寄り添うことができるよう、こうしたことも考慮しながら現場で指揮をとっていました。

変わる職場での意識

安永主幹 職場においては、これまでの男性中心から、女性消防士が増えたことで、今まで以上に能力や個性の違いを意識するようになりました。また、子育て中の消防士が多い中で、突発的な休暇や保育所の送迎など、子育てしやすい環境づくりを心掛けています。

齊藤係長 消防は男性中心の職場というイメージだったと思いますが、職場環境も含めて少しずつ整備され、時代とともに女性が活躍しやすい場になってきていると感じています。自分自身も性別や年齢にかかわらず、その人が持つ考え方や良さを伸ばしてあげたいと思うようになりました。

性別にかかわらず部下の意見を尊重

安永主幹 警防課では、消防士の訓練や市民向け講習の企画・運営を行います。

小池主任から「子ども連れで参加できる救命訓練を実施したい」と相談があったときは、母親目線のアイデアで、我々だけでは気付けなかった部分だなと感心し「ぜひやってみてください」と声をかけました。

私が若いときは、提案した意見がなかなか採用されず、このままだと組織が変わらないのではと思うこともありましたが、決定できる立場になった今は、後輩の意見になるべく応えられるようにしたいと考えています。



救急隊当時。出動に備え、備品を確認します。

編集委員のおすすめ図書

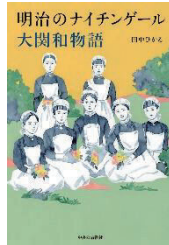


「明治のナイチンゲール 大関和物語」

著者：田中 ひかる

中央公論新社（発行 2023 年）

貸出番号：367-B-133



看護師が「賤業(せんぎょう)」と呼ばれていたなんて…。

そんな不遇の時代に、強い意志とバイタリティで日本での職業看護師の礎を築いた大関和(おおぜき ちか)の物語。離婚や子を失うなど幾多の困難に苦しみながらも出会いや機会に恵まれ、ひたむきに成し遂げていく姿に胸を打たれます。特に山村での集団赤痢の現場の描写は、引き込まれるものがありました。和(ちか)の活躍の一方、遊郭に売られた友人など女性に地位がない時代背景も興味深く描かれている一冊です。

◆上記の図書は男女共同参画センターで貸出しています◆

図書の貸し出しについて

* 市内在住・在勤・在学者対象

* 1 回 5 冊まで、期間は 2 週間

右記 QR コードから市ホームページ内

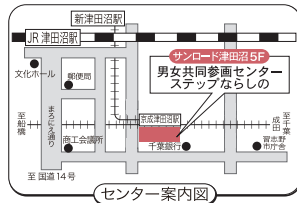
「情報ライブラリ」にアクセスし、男女共同参画センター図書一覧から本を決定、ちば電子申請サービスまたはお電話でお申込みください。



問合せ 習志野市津田沼 5-12-12

サンロード津田沼 5 階

電話 047(453)9307



きらきら★キーワード

「ハラスメント」

相手の嫌がることで不快にさせる行為全般を指します。職場においては特に、パワハラ（パワーハラスメント）、セクハラ（セクシャルハラスメント）、マタハラ（マタニティハラスメント）、パタハラ（パタニティハラスメント）など予防・解決に向けた取り組みが必要となります。

最近では、顧客や取引先などから事業所に対して、要求の内容や手段・態様が社会通念上不相当で、従業員の就業環境を害するカスハラ（カスタマーハラスメント）や、就職活動中の学生等に対して、尊厳や人格を不当に傷つける就ハラ（就活ハラスメント）などが大きな問題になっています。

* カスタマーハラスメントや就活ハラスメントで悩んでいる方・お困りの方の相談窓口

【厚生労働省委託事業 ハラスメント悩み相談室】

相談無料・匿名可・プライバシー厳守

URL : <https://harasu-soudan.mhlw.go.jp/>

◆男女共同参画コラム◆

「編集委員が実感した男女共同参画」

人が時代をつくり、時代の移り変わりに人は翻弄されてきました。

1980 年代のバブル期には、男性は仕事、女性は家事・育児の分業が一般的でした。また、女性に対する労働制限を背景に、一般職（補佐的な業務）に限定するなど、男性と異なる取扱いを行う企業が見られました。

1986 年に男女雇用機会均等法が制定され、女性も男性同様に働くことが可能となりましたが、当初はまだ少数でした。

やがて女性の社会進出が始まり、女性が経済的にも自立し、男女が共に社会的自己実現を目指す姿になったと感じます。だからこそ家庭を維持するには家事・育児も協力していくことが大切です。

これまでの「男性は仕事、女性は家事・育児」の考えにとらわれず、それぞれの家族にあった分担について考えてみてはいかがでしょうか。

女性の生き方相談

* 無料 * 要予約 * 秘密厳守 * 市内在住・在勤・在学者対象

◎夫婦のこと ◎家族のこと ◎人間関係のこと ◎自分自身の生き方について ◎これはDV? (ドメスティック・バイオレンス) …など 初めての方も安心してご相談ください。

<面接相談> 女性の専門相談員があなたと一緒に考えます。

日時：第1・第3金曜（夜間相談）

午後 1 時 30 分～4 時 15 分・午後 5 時 30～8 時 15 分

第2・第4火曜、第3水曜

午前 9 時～11 時 45 分・午後 1 時～4 時 45 分

相談時間：1 回 45 分

申込：多様性社会推進課 047(411)8017

きらきら編集委員募集中！

「きらきら」は、市職員と市民ボランティアの編集委員が協働で発行しています。

編集会議は平日の月 1 回で、オンラインによるリモート参加も可能です。見学いただくこともできますので、ご興味がある方は多様性社会推進課までご連絡ください。

よりよい紙面づくりのため、記事等に関するアンケートを実施しています。皆さんの率直なご意見・ご感想をお聞かせください。

【回答方法】

右記の QR コードから回答してください。

発行年月
編集・発行

習志野市男女共同参画社会づくり情報紙

きらきら Kira Kira

所在地
TEL
FAX

2025（令和7）年2月

習志野市多様性社会推進課

きらきら編集委員会（市民ボランティア5名）

〒275-8601 習志野市鷺沼2-1-1

047(451)1151（代表）

047(453)5578